日本ＩＯＭクラス協会 第１８回競技会 参戦記

山脇修

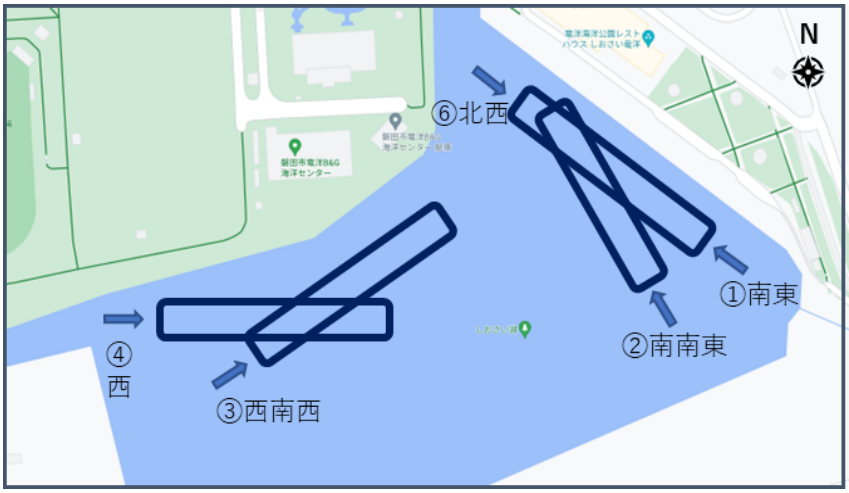
２０２３年４月２９日（土）～４月３０日（日）の２日間、第１８回競技会が静岡県磐田市竜洋Ｂ＆Ｇ海洋センターしおさい湖の水面で開催されました。出場選手は地域別に関東５名、中部６名、西日本２名の計１３名となりました。

２日間のレース概要は、初日は１１時～１６時、２日目は９時３０分～１５時、心配された雨も夜間に降っただけで２日間とも大きな影響はなく合計２１レース（捨てレース３）を実施できました。今回は天候が不順だったため目まぐるしく風向風速が変わり、レース海面も合計５コース、操船場所移動も４回と運営サイドも選手も精神的、体力的にもタフなレースとなりました。（下図参照）

１日目	①南東	Ａリグ	４レース	東岸壁	風速２～３ｍスタート
	②南南東	Ａリグ	２レース	東岸壁	微風になり風向き変化
	③西南西	Ａリグ	３レース	北岸壁	風向き変化、風速２～３ｍ
２日目	④西	Ｂリグ	３レース	北岸壁	雨の影響で風速５ｍ
	⑤西北西	Ａリグ	４レース	北岸壁	雨が上がり風速が落ちる
	⑥北西	Ａリグ	３レース	東岸壁	風向き変化、風速２～３ｍ
	⑦西北西	Ａリグ	２レース	東岸壁	風向き変化、風速２～３ｍ
		合計	２１レース（１４０ｍ～１５０ｍ）		

昨年、竜洋で開催された第１４回、第１７回競技会で池松さんに２連覇され、今回はリベンジの思いで竜洋での練習を重ね準備万端（全リグのシートメンテナンス、トリム調整、戦略の練り直し）で乗り込んできました・・が、初日の第１レースでいきなり５０センチのゴミを拾い９ｐｔ。その後盛り返すも８レース目で３９艇と絡み痛恨の失格（DSQ）１４ｐｔ、「万事休す」と思ったが、１日目を終わった段階でカットレースに助けられ何とか上位キープができた。１位～４位まで２ｐｔ差の大接戦。

２日目は気持ちを入れ替え、集中してスタートするも第１レースのスタートで絡まれレース復帰できずに救済（ＲＤＧ）、救済のはずなのに前２レースの平均のため、前日の失格がネックとなり９ｐｔ。「あー、終わった」と半ば諦めていました。この諦め感が良かったのか、何かスイッチが入ってしまいゾーンに入ったような感覚で風、水面、他艇の状況が手に取るように分かる。久しぶりにあんな感覚（スタート音響以外の雑音が耳に入らず、視覚情報が瞬時に頭で整理出来る感覚）を味わいました。

結果は「３大トラブルの点数」をすべて捨てレース内で賄えたことが大きかった。「１日目ゴミ拾い９ｐｔ、失格 １４ｐｔ、２日目の救済 ９ｐｔ」がすべて帳消しとなったのです。今回は１、３位が中部勢、 ２、４位が関東勢と、前回大会のリベンジが出来たと思っています。皆で切磋琢磨して世界に追い付き追い越しましょう！

最後になりましたが、大会を運営、サポートしていただいた地濱氏、杉浦夫妻、心から御礼を申し上げます。振れ回る風への対応ありがとうございました。